

認知症作業療法 活動報告（概要）

当士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いている。地域住民向けの認知症啓発イベント「認知症スタンプラリー」の開催を筆頭に地域の多職種・多業種とのつながりを広げている。2019度は、多業種とのつながりが広がり、県立図書館の参加協力も得られた。そのつながりから、図書館大会にて認知症支援と図書館の可能性について鼎談として講演をする機会を頂いた。

イベント開催

当事者やご家族が楽しく外出できる場をつくり、一般の方でも認知症に興味を持ち、認知症の方を支える輪を広げられることを目的とした、地域向け啓発イベント。公共の公園を散策しながら、様々なブースを回り、認知症に関する知識の説明を受け、体験をする。多職種・多業種の方々が協力してくれ、4回目の開催となり過去最多の約360人が参加した。初の認知症当事者ボランティアの参加も得られ、イベント開催の意味的にも広がりが感じられた。



県立図書館ブース
認知症関連本等の展示



スターバックスコーヒー
×当事者×家族×介護職



認知症カフェの方々
が作成した記念品

講座開催

県や市町村、県内団体や企業などからの依頼を受け、認知症サポーター養成講座や予防講座を多数開催している。

2019年度は、スタンプラリーのつながりから山梨県図書館大会にて講演をする機会を得た。



市町村事業・イベント等協力

市町村主催の認知症関連イベントへの参加・協力に加え、企業主催のイベントにも参加して、認知症クイズや認知症予防体操等、多彩な活動協力が広がっている。

今年度は、市町村や家族会主催で開催されている認知症カフェより依頼を受け、ミニ講座やカフェ立ち上げ準備等の支援を行っている。



今後の展開

- ・ 認知症スタンプラリーのさらなる拡大（当事者の参加増、当事者と作るイベントへ）
- ・ スタンプラリーで得たつながりからの新しい展開の模索（図書館とのコラボなど）